

令和5年度 白鷹町立荒砥小学校 経営の基底

1 めざす姿

- (1) 校 是 「琢磨」 ～知徳ヲ切磋琢磨シテ有用ノ材タシ～
- (2) 学校目標 勉強だいすき、かしこい子ども
心やさしく、正しい子ども
進んで行動、やりぬく子ども
みんなでスポーツ、きたえる子ども
- (3) 学校像 「元気！ 本気！ 勇気！ 琢磨校」
「できる」笑顔輝く学校 「のびる」勢いある学校 「かかわる」みんなの学校
- (4) 子ども像 「あいうえお名人」 (あいさつ いい姿勢 歌声 鉛筆 思いやり 名人)
- (5) 大人の姿 「四 かけ 人」 (手・声・目・心をかける)



2 方 針

- (1) 学習指導要領、6教振後期プラン、第6次白鷹町総合計画等を礎に、「元気！本気！勇気！琢磨校」の実現に資する学校経営に挑戦する。
- (2) 確かな学力を育成する“わかる楽しい授業”と、家庭地域と協働した“じりつ”の営み、“白鷹スタンダード”の確実な実践で、子ども一人一人にできる喜びを味わわせる「えがお輝く学校」を創る。
- (3) 自他を大切にすることの大切さ、愛着を育む大人のかかわりから安心できる居場所を作り、細やかな見取りと的確な支援、受容共感をもとにした生徒指導で、いじめ撲滅を期す「みんなの学校」を創る。
- (4) 個のニーズに応じた合理的配慮を全校ですすめ、特別支援学級・通級指導教室の経営を充実させながら、ユニバーサルデザインがすべての教育活動に浸透する「のびる学校」を創る。
- (5) 学校運営協議会等と密接に連携し、地域力を積極的に活用する“社会に開かれた教育課程”のもと、学校・家庭・地域がともに歩む「信頼される学校」を創る。
- (6) 教育活動のねらいを明確にしなが、効果と効率を高めるマネジメントで働き方改革をすす、
「澁淵颯爽と学び続ける教職員が育つ学校」を創る。
- (7) “危機管理のさしすせそ”をもとに、ソフト・ハード両面で諸環境を改善し、コンプライアンスと施設管理が充実する「安心・安全な学校」を創る。

3 重 点

(1) 重点1 「学力と読書習慣をつける」

- <めざす子ども像> ① 主体的に学び、基礎基本を身につける子ども
② 自分らしく考え、伝え、学びを深める子ども
③ 文字や人の心に親しみ、読書に励む子ども

<目標達成への道すじ>

- ① 「主体的に学び、基礎基本を身につける子ども」の育成に向けて
- ア “いい姿勢・えんぴつ名人”を合い言葉に、整然として前向きな学習の構えをつくる。
- イ 動機づけを生かし、ICT等の細やかな支援で、どの子もわかる指導法、指導体制にする。

- ウ 家庭学習を充実・習慣化させ、学習内容の確実な定着と学びに向かう姿を保障する。
- ② 「自分らしく考え、伝え、学びを深める子ども」の育成に向けて
 - ア 内言を表出できる安心感を土台に、自ら考えを發表しようとする指導を充実する。
 - イ 明確なねらいと教師の的確なコーディネートで交流を促し、深い学びに導く。
 - ウ 作文・標語・絵画・工作等への積極的な挑戦で、個性を伸長し自信を育む。
- ③ 「文字や人の心に親しみ、読書に励む子ども」の育成に向けて
 - ア 国語科等と連動した読書活動で、本に親しむきっかけをつくり、習慣化を促す。
 - イ 各教科の調べ活動等を生かし、読み取る力・資料活用能力を伸長させる。
 - ウ 家庭と連携した読書活動で、ことばの美しさと人の温もりを感得させ、感性を磨く。

(2) 重点2 「自尊心と自主の心を育てる」

- <めざす子ども像>
- ① 自分も相手も大事にする子ども
 - ② あいさつ自慢の明るい子ども
 - ③ マナーよく力を合わせる子ども

<目標達成への道すじ>

- ① 「自分も相手も大事にする子ども」の育成に向けて
 - ア 優しさと強さを持ち、自分も相手も笑顔になれる“思いやり名人”を育てる。
 - イ 自ら心を開き、互いに心を合わせ、のびのび表現できる“うたごえ名人”を育てる。
 - ウ 自己を見つめ、広い視野から生き方を考え、しなやかな心が育つ道徳教育を推進する。
- ② 「あいさつ自慢の明るい子ども」の育成に向けて
 - ア 荒砥小学校の伝統として誇れる“あいさつ名人”を育てる。
 - イ 人とつながり、元気と活力を地域に発信できるあいさつを啓発する。
 - ウ 学校・家庭・地域のあいさつから愛着関係を構築し、安定した心と前向きな姿勢を育む。
- ③ 「マナーよく力を合わせる子ども」の育成に向けて
 - ア 気づき、考え、実行する児童会活動・異年齢集団活動で、意欲と実践力を育てる。
 - イ 規律のある穏やかな校内外の生活から、きまりを守り正義を尊ぶ力を育てる。
 - ウ 細やかな教育相談と寄り添う指導で、心を安定させ、自分らしく生きる力を育む。

(3) 重点3 「『じりつ』と運動能力を育てる」

- <めざす子ども像>
- ① “早寝・早起き・朝ごはん”ができる子ども
 - ② 安全に行動し、いのちを守る子ども
 - ③ めあてを持ち、意欲的に体を動かす子ども

<目標達成への道すじ>

- ① 「“早寝・早起き・朝ごはん”ができる子ども」の育成に向けて
 - ア 正しい生活リズムを継続啓発し、心と体が安定できる生活を確立する。
 - イ 人が集い、団欒を生む“食”を切り込み口に、子どもの愛着関係を構築・充実する。
 - ウ 家庭と連携しながら、心身の健康を育む取り組みを工夫し、しなやかな心と体をつくる。
- ② 「安全に行動し、いのちを守る子ども」の育成に向けて
 - ア “しっかり止まってはっきり確認”を徹底した教育活動で、交通事故絶無を期す。
 - イ いのちの教育を計画的に実施し、自他の心身を大切にする力を育てる。
 - ウ 防災や新しい生活様式を窓口にした安全教育で、自ら考え判断し、自ら命を守る力をつける。
- ③ 「めあてを持ち、意欲的に体を動かす子ども」の育成に向けて
 - ア 適時性・系統性に即し、運動の特性にふれる指導で、運動意欲と体力・運動能力を伸長する。
 - イ 日常的に体を動かせる環境を整備し、体力と切磋琢磨する心、あきらめない心を育む。

ウ 各種大会に積極的に挑戦させ、個性、体力・運動能力を伸ばし、自信を育む。

(4) 重点4 「学校愛と郷土愛を育てる」

- ＜めざす子ども像＞
- ① 学校が大好きで、みんなといっしょにがんばる子ども
 - ② ふるさとが大好きで、みんなのために役立とうとする子ども
 - ③ 伝統をみがき、新しいことに挑戦する子ども

＜目標達成への道すじ＞

- ① 「学校が大好きで、みんなといっしょにがんばる子ども」の育成に向けて
 - ア “琢磨” “元氣” “本氣” “勇氣”を合言葉に教育活動をすすめ、自尊心を高める。
 - イ たくまバンド活動や学校行事等を工夫し、“琢磨校”への所属感と一体感を生む。
 - ウ 保・こ・小・中・高が連携した活動をもとに、一人一人の持てる力を確かに育てる。
- ② 「ふるさとが大好きで、みんなのために役立とうとする子ども」の育成に向けて
 - ア べにばな学習やクラブ活動等で地域の文化や人のよさを学び、地域の誇りを生む。
 - イ 地域に学ぶ総合的な学習を計画的に展開し、自分達が描くふるさとの未来を具体化させる。
 - ウ 学校運営協議会を中核に安心・安全・愛着を保障する環境を整備し、地域の教育力を高める。
- ③ 「伝統をみがき、新しいことに挑戦する子ども」の育成に向けて
 - ア “琢磨”の伝統を礎に、自分から、自分達で大好きな学校を創ろうとする意欲を育てる。
 - イ “あいうえお名人”を合言葉に、互いに磨き合い、高め合う力をつける。
 - イ P T Aや地域との連携を強め、家庭・地域で、大人も育ち子どもも育つ活動をすすめる。

4 経営上の留意点

- (1) 今年度のうねりと山場
 - 「めざせ！あいうえお名人」を合言葉に、行事等の節目ごととうねりを高め、教育活動を展開する。山場を学習発表会と位置づけ、学校経営の状況を子どもの姿として公開する。
- (2) 今日的課題に対する新鮮な取り組みを継続・充実する。
 - ア 学力は、積極的な生徒指導で子どもに安心感を生み、主体的・対話的で深い学びを追究しながら、しっかり教え、しっかり学ばせる授業で保障する。また、効果的な家庭学習や地域連携のあり方等についても研究し、確実に向上させる。
 - イ 学校研究を中核に学習指導法並びに教科指導法を研修し、子どもが問いを持ち、主体的・対話的で深く学ぶ、理想の姿を追求し続ける。
 - ウ 「いじめ防止基本方針」をもとに、“危機管理のさしすせそ”をキーワードにして、いじめの未然防止と早期発見をすすめ、いじめ撲滅に全力をあげる。
 - エ 白鷹町学校教育研究所による「白鷹スタンダード」の具現をめざし、学校家庭地域連携、校種間接続を意識した指導を強化する。
 - オ 白鷹町学校教育研究所のじりつ特別委員会が提唱する「愛着」の構築をめざして、心と体を育む家庭連携の取り組みをすすめ、家庭教育力を向上させる。
 - カ 子どもを語る会を週1回開催し、子どもの育ちを全職員で共有する。また、特別支援教育委員会で、個のニーズに応じた合理的配慮と保護者連携を確実にし、小さなのびを保障する。
- (3) 学校評価等を活用し、PDCAのマネジメントサイクルで経営改善を日常化する。
 - ア 校是や学校教育目標等の「めざす姿」をもとに子どもを見つめ続け、実態に即したねらいに改善しながら教育活動を積み上げ、子どもの育ちにつなぐ。
 - イ 子ども・教師・保護者アンケート等をもとに、伝統を磨き新鮮さを生む経営にする。
 - ウ 学校運営協議会と連動し、多角的見地から経営を見つめ直し、元気な学校を創る。

エ 校務や事務を重点化・焦点化し、子どもとふれあい語り合える時間、教職員が心にゆとりを感じられる時間を創出する日課と業務改善で、働きがいのある明るい環境をつくる。

(4) 本校らしきのある教育活動を磨き続け、勢いある経営で「元気！」本気！琢磨校」を創る。

① あいさつ運動

⇒ 児童会による子ども主体、PTAによる家庭連携の活動等、学校・家庭・地域で“あいさつ名人”を生む。

② 朝ボランティア

⇒ 伝統的に、6年生が毎朝校舎内外を清掃する。最上級生としての姿を磨き、リーダーとしての自覚を育むとともに、下級生があこがれる“思いやり名人”の姿を示す。

③ たくまバンド

⇒ 金管楽器やフラッグ等5・6年生全員で構成し、運動会等で発表して、地域に元気を届け、子ども達の学校愛と郷土愛を育む。

④ クラスタイム

⇒ 月曜日と金曜日の週2回、帰りの会前に20分間行う。学力・自尊心・体力・愛校心等を向上させる活動を各クラスで工夫して行い、子ども一人ひとりの輝きを一層まばゆくする。

⑤ まなびタイム

⇒ 朝の活動に時間に取り組む。算数科の基礎を確実に身につけさせるとともに、声に出して堂々と読む経験等を積み、表現力の向上をめざす。

⑥ 体力づくり

⇒ 朝の活動に時間に、3分間走を中心に取り組む。また、中間休みは原則として全員外遊びとし、校外で日常的に体を動かせる環境を整備したりして、運動の生活化をめざす。

⑦ べにばな学習

⇒ 3年総合的な学習で、種まき、花摘み、染色を行い、紅花生産量日本一の本町のよさを実感させる。また、5年生は町一斉の花摘みに加わり、ふるさとのよさを追体験させる。

⑧ 勤労生産学習

⇒ 昨年度より5年田んぼの学習を始めた。1、2年を中心とした畑の学習とあわせ、地域の自然と人の豊かさにふれ、郷土愛を涵養し、いのちを尊ぶ姿をめざす。

⑨ 地域の先生

⇒ 地域の方から専門的なご指導をいただく。特に、クラブ活動、べにばな学習、勤労生産学習では主たる指導者となり、学校職員はサポート的な役割を担う。

⑩ 読みきかせ

⇒ PTA母親委員会や町図書館司書、地域ボランティア“小さいたね”に加え、児童会図書委員会や高学年児童による読みきかせも行い、読み手の温かな人柄にふれ、心を耕す。

⑪ 家庭読書の日

⇒ 毎月、第2第4土曜日に実施する。家庭で親子一緒に読書することを奨励し、情操を涵養するとともに、“愛着”関係を構築して子どもの安心・安全を生み、“じりつ”を促す。

⑫ たくまっ子見守り隊

⇒ PTA全会員が見回り隊・見つめ隊・声かけ隊のトライアングルアクションに参画し、子どもの安全確保、健全育成に努める。

⑬ こ保小交流活動

⇒ 年長児と1年生や5年生による子ども交流、入学前後や休業中による職員交流で、幼児期と小学校期の円滑な接続を保障する。